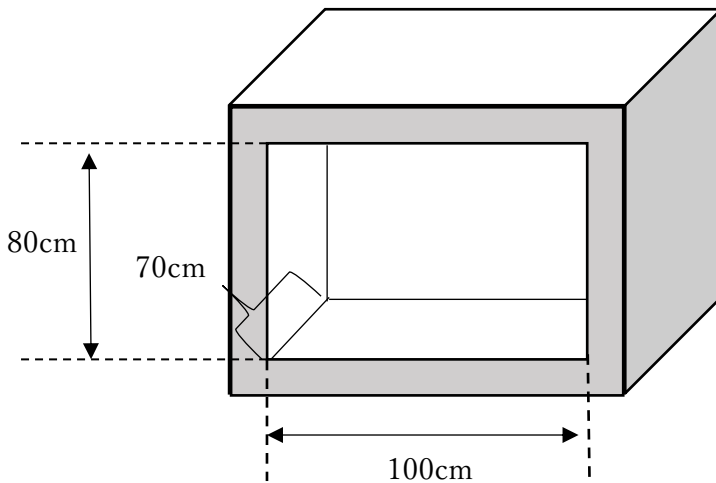


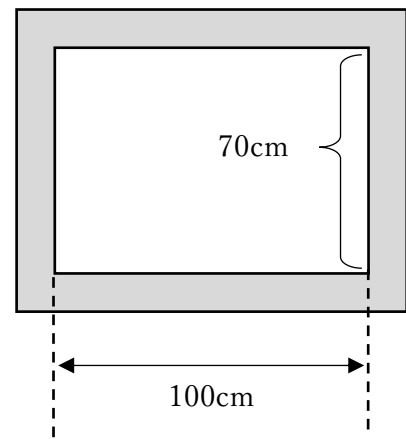
ケージ等の規模を示す平面図・立面図 記載例

材質、サイズ（内寸）、個数及び転倒防止策を記入してください。運動スペースもケージ等に含まれます。

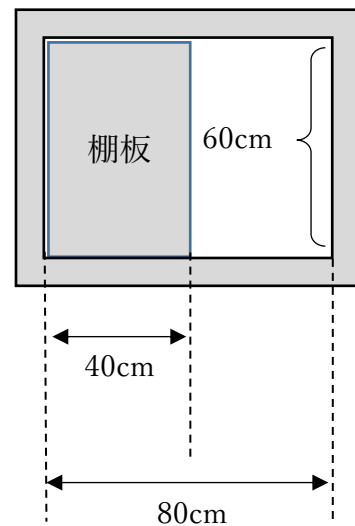
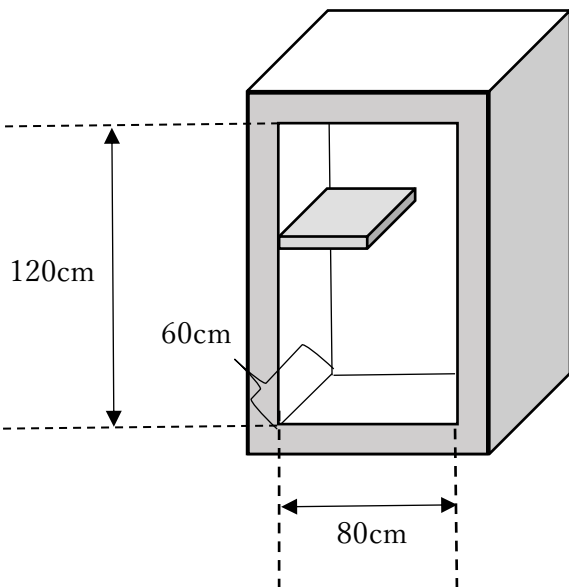
【ケージ全体図 記載例】



【上から見た図 記載例】



記載例：プラスチック製、個数1個、粘着ジェルで床に固定+ベルト式器具で壁に固定

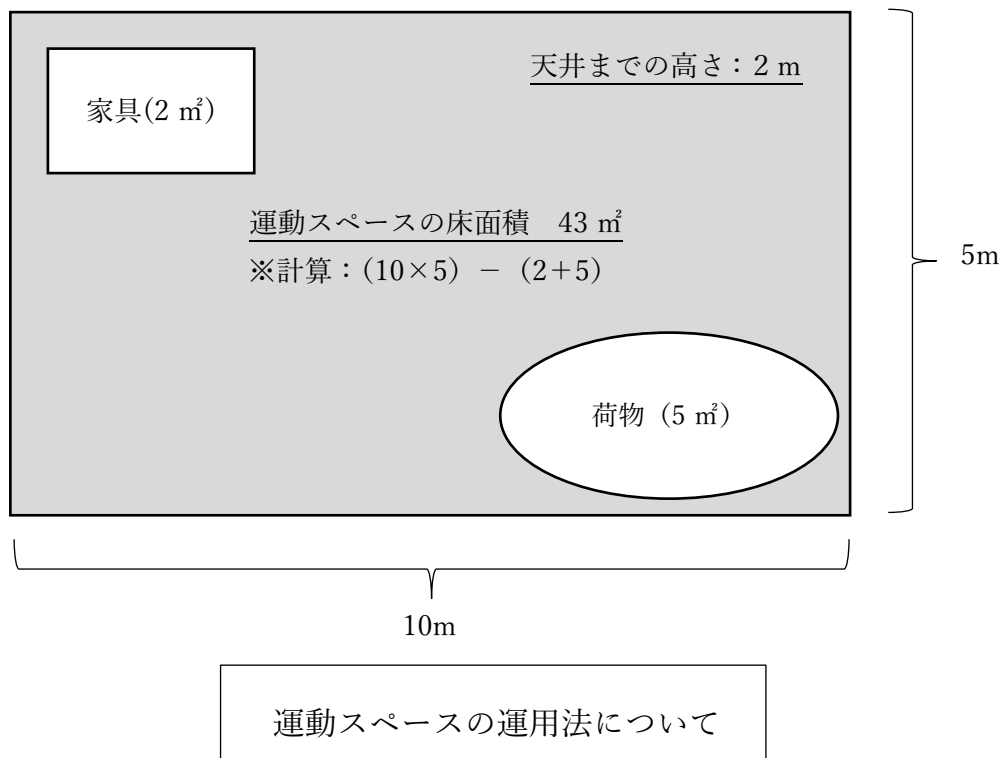


記載例：ステンレス製、個数3個、L字金具で床及び壁に固定

【運動スペース平面図・立面図 記載例】

床に家具や荷物等を置いている場合は、その面積を除外した面積を記入してください。部屋の場合は、平面図に天井までの高さを併記してください。運動スペースはケージ等に含まれるため、ケージ等の基準が適用されます。また、常時運動に利用できる状態で維持管理されていることが必要です。

犬用運動スペース（1部屋） 記載例



事業所にある運動スペースで何頭の犬猫が飼養・保管可能かを計算し、把握してください。申請・届出時に説明書類を提出していただきます。また、センターから説明を求められた際に、答えられるようにしておいてください。

説明書類 記載例

犬 25 頭を施設で飼養している（そのうち、最大体長 72cm・最大体高 65cm）。運動スペース（1部屋）の床面積が 43 m²、天井までの高さが 2mあるので、犬 9 頭が同時に使用可能である。

1 回最大 9 頭・3 時間連続で、9 時・13 時・17 時からの 3 サイクルで運動スペースを使用するため、施設で飼養する全頭の犬を運動させることができる。